

調査票 1

都道府県・政令指定都市名	17 石川県
--------------	--------

1 男女共同参画・女性問題に関する事務を総合的に所管する組織

局 部 課 (室) 名	県民文化局男女共同参画課
担 当 職 員 数	11 人 (専任 11 人、兼任 人)

2 国の「男女共同参画推進本部」に相当する本庁の連絡会議(推進体制)

名 称	石川県男女共同参画推進庁内連絡会議
設 置 年 月 日 ・ 根 拠	昭和 55 年 4 月 28 日 根拠: 任意規定(平成13年4月1日名称変更)
長 の 役 職	副知事

3 男女共同参画に関する諮問機関、懇談会等

会 議 の 名 称	石川県男女共同参画審議会
設 置 年 月 日	平成 14 年 5 月 1 日
構 成 員	20 人 (女性 12 人、男性 8 人)

4 男女共同参画に関する計画

計 画 期 間	平成 28 年 3 月 ~ 32 年 3 月		
名 称	いしかわ男女共同参画プラン2011改定版		
改定・見直しの予定時期	平成 32 年 3 月 日		— 未定の場合は〇をつけてください。
女性活躍推進法の推進計画と一体である	<input type="radio"/>	※いずれか1つに〇をつけてください。	
女性活動推進法の推進計画と別に作成	<input type="radio"/>		

5 男女共同参画に関する条例

有の場合	名 称	石川県男女共同参画推進条例		
	公 布 日	平成 13 年 10 月 12 日		
	施 行 日	平成 13 年 10 月 12 日		
	改 正 日	平成 年 月 日		
	改 正 内 容			
	改正が予定されている場合、改正予定時期:	平成 年 月		
無の場合 ※どちらかに〇をつけてください。	制定等について検討中(あれば、具体的に)			
	特に検討していない			

調査時点コードを以下より選択してください

6 審議会等委員への女性の登用

	1:平成28年4月1日	2:平成28年5月1日	3:その他:平成28年6月1日
目標値	平成 32 年度まで 50 %	平成 年度まで %	
根 拠	いしかわ男女共同参画プラン2011改定版(平成28年3月)		
目標設定の対象である審議会等の範囲	法律、条例、要綱等に基づき設置されている審議会等		
目標設定の対象である審議会等における登用状況	調査時点コード	3	審議会等数(94)うち女性委員を含む審議会等数(94)
			延総委員等数(1,261)延女性委員等数(427) 女性比率(33.9)
地方自治法(第202条の3)に基づく審議会等における登用状況	調査時点コード	3	審議会等数(77)うち女性委員を含む審議会等数(77)
			延総委員等数(1,060)延女性委員等数(353) 女性比率(33.3)
法律又は政令により地方公共団体に置かなければならない審議会等における登用状況(*)	調査時点コード	3	審議会等数(35)うち女性委員を含む審議会等数(35)
			延総委員等数(709)延女性委員等数(210) 女性比率(29.6)
地方自治法(第180条の5)に基づく委員会等における登用状況	調査時点コード	1	審議会等数(9)うち女性委員を含む審議会等数(5)
			延総委員等数(66)延女性委員等数(9) 女性比率(13.6)
目標値以外の目標設定	なし		
女性登用方針	人材名簿作成の有無	有 <input type="radio"/> (公表 <input type="radio"/> ・非公表 <input type="radio"/>) ・無 <input type="radio"/> 作成予定有 <input type="radio"/>	
	人材名簿が有る場合	掲載人数	112 人 (平成 28 年 6 月現在)
	そ の 他	人材育成事業の実施の有無 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> ・無 <input type="radio"/> 委員の公募 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> ・無 <input type="radio"/> 審議会等女性委員登用促進要綱に基づく事前協議の実施 <input type="checkbox"/>	

注(*) 平成28年3月時点で法律又は政令により設置義務がある審議会のうち内閣府が把握したもの(参照:別表1(都道府県)、別表2(政令指定都市))

7 女性公務員の採用・登用状況

調査時点コードを以下より選択してください

(1)-1管理職の在職状況

		1:平成28年4月1日	その他:平成 年 月 日										
	管理職総数(※)	女 性 管 理 職 の 内 訳											
		(人)	うち女性管理職数(人)	女性比率(%)	部局長相当職			次長相当職			課長相当職		
	(A)=(C+E+G)	(B)=(D+F+H)	(B/A)	(人)	うち女性数(D)	女性比率	(人)	うち女性数(F)	女性比率	(人)	うち女性数(H)	女性比率	
本庁	計	411	18	4.4	25	2	8.0	59	0	0.0	327	16	4.9
	うち一般行政職	340	17	5.0	25	2	8.0	44	0	0.0	271	15	5.5
支庁・地方事務所等	計	406	38	9.4	8	0	0.0	88	9	10.2	310	29	9.4
	うち一般行政職	197	2	1.0	4	0	0.0	19	0	0.0	174	2	1.1
全体	計	817	56	6.9	33	2	6.1	147	9	6.1	637	45	7.1
	うち一般行政職	537	19	3.5	29	2	6.9	63	0	0.0	445	17	3.8
再掲	警察関係	112	0	0.0	0	0	0.0	26	0	0.0	86	0	0.0
	教育委員会	48	1	2.1	1	0	0.0	6	0	0.0	41	1	2.4

注(※) 管理職総数の欄は自動計算されますので入力しないでください。

(1)-2職務上の地位別職員在職状況

1:平成28年4月1日 その他:平成 年 月 日

Table with columns for position (課長補佐相当職, 係長相当職), gender (うち女性数), and ratio (女性比率). Rows include 本庁, 支庁・地方事務所等, 全体, and 再掲 categories.

(1)-3新規昇任者数

平成27年4月1日～28年3月31日

Table showing new appointments by position and gender. Columns include 課長相当職, 課長補佐相当, and 係長相当職, with sub-columns for female count and ratio.

(1)-4昇任・昇格等登用の考慮要素となる事項

考慮要素としている事項すべてに○を記入してください。

Table for selection criteria with columns for performance, exam results, recommendations, experience, long-term training, remote work experience, and personal wishes.

(1)-5昇任・昇格試験の受験者数

平成27年4月1日～28年3月31日

Table showing the number of applicants for promotion and grade advancement exams, categorized by exam type.

(2)女性公務員の採用状況

平成27年4月1日～28年3月31日

Table showing female public employee hiring statistics by total count, gender count, and ratio across various levels.

8 男女共同参画・女性のための総合的な施設の設置

※複数の施設がある場合、2件目以降は、次のシート(調査票1(2))に記載してください。

Form for facility information including name (石川県女性センター), location, management details, staff count, and main activities.

9 男女共同参画・女性関係事業を推進するための基金・財団の設立(施設の管理運営の実施団体を含む。)

名 称	(公財)いしかわ女性基金	基金・基本財産額	271,000	千円
設置年月日	平成 4 年 9 月 18 日	出資者	石川県	

10 地方公共団体と民間団体(女性団体等)との連携/民間団体(女性団体等)のネットワーク

各種女性団体連絡協議会等の有無	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 名称等: 石川県各種女性団体連絡協議会	加盟団体数	14
地方公共団体からの助成・委託事業実施の有無	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	会 員 数	約172,360人
活 動 内 容 ※実施しているものに○をつけてください。	<input type="radio"/> 1. 定例会議(情報交換会等)の開催 <input type="radio"/> 2. 機関誌の発行 <input type="radio"/> 3. 広報啓発パンフレット作成 <input type="radio"/> 4. その他 { 内容: 男女共同参画のつどい }		

11 市町村との連携及び市町村への指導・助言状況(都道府県) ※該当するものに○をつけてください。

<input type="radio"/> 1. 担当者連絡会議の開催 <input type="radio"/> 2. 市町村職員研修会の開催 <input type="radio"/> 3. 市町村アドバイザー養成講座等の開催 <input type="radio"/> 4. 関係情報の収集提供 <input type="radio"/> 5. 審議会等女性登用の働きかけ <input type="radio"/> 6. 補助金等の交付 { 名 称 : 交付先 : } <input type="radio"/> 7. その他 { 内容 : }

12 職員研修の実績状況 ※実施しているものに○をつけてください。

(1) 男女共同参画・女性問題に関する職員研修の実施

<input type="radio"/> 1. 職員向け男女共同参画・女性問題についての講演会、研修会等を実施 <input type="radio"/> 2. 一般職員研修に、男女共同参画・女性問題の講義等を組み入れ <input type="radio"/> 3. 国、民間等が行う男女共同参画・女性問題に関する研修に職員を派遣 <input type="radio"/> 4. 男女共同参画の観点からの防災に関する研修の実施

(2) 女性職員の研修受講への配慮

<input type="radio"/> 1. 女性職員を対象とした能力開発や管理職登用のための研修を実施 <input type="radio"/> 2. 研修受講職員の男女比を配慮 <input type="radio"/> 3. その他 { 内容: }
--

13 担当局(部)課(室)所管の男女共同参画・女性関係予算

事 項	27年度予算 (千円)	28年度予算 (千円)	備 考
関係予算総額(施設整備費を除く)	132,912	137,236	
上記関係予算が一般会計予算総額に占める割合	0.02440 %	0.02320 %	
男女共同参画・女性のための施設整備費	13,506	57,273	

14 公共調達における男女共同参画及びワーク・ライフ・バランス項目の設定状況 ※該当するものに○をつけてください。

項目の設定	国の取組に準じた設定
1 公共工事の競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	○
2 物品の購入等の競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	○
3 総合評価落札方式の一般競争入札を適用している場合における男女共同参画等の項目の設定	
4 その他の公共調達における男女共同参画等項目の設定 (○の場合は(1)~(5)の該当項目に回答(複数回答可)してください。)	
(1) 指名競争入札又は随意契約により物品調達を行う際に認証している企業からの優先調達	
(2) 清掃、設備保守業務等の競争参加資格審査における項目の設定	
(3) 指定管理者公募選定における評価項目の設定	
(4) プロポーザル方式における評価項目の設定	
(5) その他(内容:)	

↓ 上記1~4で「○」の場合は、下記の「具体的項目」で該当する項目欄に○を付けてください。

具体的項目	1 公共工事の競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	2 物品の購入などの競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	3 総合評価落札方式の一般競争入札を適用している場合における男女共同参画等の項目の設定	4 その他の公共調達における男女共同参画等の項目の設定
① 女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定、次世代育成支援対策推進法(以下「次世代法」という。)に基づく「くるみん」認定、「プラチナくるみん」認定又は青少年の雇用の促進等に関する法律(以下「若者雇用促進法」という。)に基づく「ユースエール」認定を取得				
② 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(以下「女性活躍推進法」という。)に基づく一般事業主行動計画の策定(努力義務企業のみ対象)				
③ 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定(努力義務企業のみ対象)				
④ 地方公共団体が行う男女共同参画等に関する企業の認定・認証等を取得	○	○		
⑤ 役員に占める女性割合に関する項目				
⑥ 管理職に占める女性割合に関する項目				
⑦ 役員や管理職への女性の登用促進のための取組(ポジティブ・アクション、数値目標の設定等)				
⑧ 仕事と育児・介護を両立するための取組(法定以上の育児・介護休業制度等)				
⑨ ノー残業デーの設定など労働時間縮減に向けた取組				
⑩ 短時間正社員制度の導入				
⑪ 男性の育児・家事への参画促進に向けた取組				
⑫ ワーク・ライフ・バランス関連表彰の受賞、認証実績(①~④を除く)				
⑬ その他				

15 男女共同参画等を推進している企業の登録・認定・認証、表彰制度の状況

実施の有無	企業の登録・認定・認証制度	企業の表彰制度
1 女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定、次世代法に基づく「くるみん」認定、「プラチナくるみん」認定又は若者雇用促進法に基づく「ユースエール」認定を取得		
2 女性活躍推進法又は次世代法に基づく一般事業主行動計画の策定(努力義務企業のみ対象)	○	○
3 役員に占める女性割合に関する項目	○	○
4 管理職に占める女性割合に関する項目		
5 役員や管理職への女性の登用促進のための取組	○	○
6 その他「登用促進等」に関する項目		
7 仕事と育児・介護を両立するための取組		○
8 ノー残業デーの設定など労働時間縮減に向けた取組		○
9 短時間正社員制度の導入		
10 男性の育児・家事への参画促進に向けた取組		
11 ワーク・ライフ・バランス関連表彰の受賞、認証実績(1、2を除く)		
12 その他	○	

→ 「企業の登録・認定・認証制度」有りの場合、具体的名称: ワークライフバランス企業登録制度、いしかわ男女共同参画推進宣言企業

→ 「企業の表彰制度」有りの場合、具体的名称: ワークライフバランス企業知事表彰

16 地域における女性活躍推進連携体制の構築状況

1 ある	→	女性活躍推進法第23条の「協議会」に該当する場合、その具体的名称
2 現在はないが、今後検討する	○	その他の場合、その具体的名称

17 男女共同参画に関するデータ集(白書等)の作成状況

住民の状況や活動を男女別に明らかにすることを主たる目的とするデータ集(白書、データブック等)の公表	○ 有 無	名称 男女共同参画推進状況報告書
公表周期		1 年 不定期
公表主体 ※該当するものに○をつけてください。	○	1. 男女共同参画・女性問題に関する事務を総括的に所管する課(室) 2. 統計情報に関する事務を総括的に所管する課(室) 3. 男女共同参画・女性のための総合的な施設の指定管理者 4. その他)

18 平成28年度実施予定事業

※該当する予定事業がない場合は、記入欄に記入しないでください。

名 称	事 業 内 容 等	参加予定者数	時 期
1. 広報啓発			
・ 男女共同参画のつどい	講演会等(各種女性団体連絡協議会との共催)	330人	H28.6
・ 「いしかわバーブルリボンキャンペーン2016」の実施	DVは犯罪となる行為を含む重大な人権侵害であることを広く県民へ周知するため、内閣府が定めた「女性に対する暴力をなくす運動11/12～25」期間を中心に、県、市町、各種団体が協力し一斉啓発活動を実施する。 内容:バーブルリボンツリーの設置、県施設のライトアップ、街頭キャンペーン、ミニコンサート、シンポジウム	未定	H28.11
・ 若年層向けDV予防啓発セミナー	若年層におけるDVの防止や将来の配偶者からの暴力予防につなげることを目的に、高校生を対象にセミナーを開催する。	—	随時
・ 若年層向けDV予防啓発出前講座	若年層におけるDVの防止や加害者や被害者にならないようにするために、DVについての理解や正しい知識を深めることを目的に高校・大学生等を対象に、出前講座を開催する。	—	随時
・ 教員研修	高校生に身近な教職員にも、DVについての専門的知識を深めてもらうため、教員研修を実施する。	—	随時
・ 男女共同参画推進員ネットワーク事業	男女共同参画推進員の自主活動、研修等、応援団による出前講座を実施する。	—	H28.4～ H29.3
・ 男女共同参画啓発副読本の作成	学校及び家庭における男女共同参画教育を推進するため。小学校5年生を対象に副読本を作成する。	—	H29.3
・ 若者の男女共同参画推進事業	若者の男女共同参画の理解を促進し意識の変革を図ることを目的に、県内の大学生等を対象とした、男女共同参画の視点による人生設計を考えるワークショップ等を開催する。	1,000人	H28.6～ H29.2
・ 企業の男女共同参画推進事業	企業における男女共同参画の意識改革を促進するため、「いしかわ男女共同参画推進宣言企業」認定制度を推進するとともに、セミナーの開催や取組事例集の作成などにより、企業の自発的な取組の実践を促す。	—	H28.4～ H29.3
・ 若年層向けDV予防啓発小冊子の作成	若年層へのDV予防啓発の充実・強化のため、漫画を多く用いるなど、若者が興味を持ちやすい工夫をした冊子を作成し、県内高等学校へ配布する。	—	H29.3
・ 男女共同参画啓発誌の作成	意識啓発を進めるための啓発誌を作成し、男女共同参画推進員の地域での啓発活動においても活用する。	—	H28.10
2. 講座			
・ 男女共同参画啓発力向上講座	男女共同参画推進員が、男女共同参画についての理解を深め、意識改革につながる受け入れられやすい啓発の秘訣を学ぶ講座を実施する。	97人	H28.10
3. 相談事業			
・ 女性なんでも相談室の設置	女性の自立に関する様々な悩みに対する相談に応じる。	—	随時
・ 悲しみ110番の設置	心の癒しを必要とする女性の相談に応じる。	—	随時
・ DVホットラインの実施	配偶者からの暴力の被害者等に対する相談に応じる。	—	随時
・ 起業による女性の社会参画推進事業	起業を目指す女性(すでに起業しているが、事業内容を見直したい女性を含む)の相談に応じる。	—	随時
4. 情報収集・提供			
・ 男女共同参画推進状況報告書の作成	男女共同参画の推進状況や施策の実施状況についての報告書を作成する。	—	H28.12
5. 苦情処理			
・ 苦情処理機関の設置	苦情処理の申出	—	随時
6. 交流促進			
7. 企業・NPO法人との連携・働きかけ			
・ 企業の男女共同参画推進応援講座	企業における女性の活躍推進や男女共同参画の取組を、企業全体としての取組に広げるとともに、その質的向上を図るため、「企業の男女共同参画推進応援講座」を、経営者・役員向け、管理職・人事担当者向け、現場リーダー向けの3つのコースに分けて実施する。	各30人	H28.8、 H28.9
・ 企業の女性活躍推進・課題解決合同コンサルティング	企業が女性活躍推進の取組を進めるにあたり抱えている課題について、参加企業同士で情報共有や意見交換をし、その解決に向けて専門家のアドバイスも受ける。	各10社	H28.10、 H29.1
8. 国際交流・海外派遣事業			
・ 中国江蘇省女性団体交流事業	中国江蘇省女性団体と本県の女性団体との意見交換会等を実施する。	受入6人	H28.11
9. 調査研究			
10. その他			
・ DV職務関係者研修会	職務関係者を対象に、DV被害者支援における知識を修得するための研修を実施する。	58人	H28.5～
・ DV被害者自立支援対策	保護施設退所後のDV被害者の自立生活への円滑な移行を支援する。	—	
・ 女性県政学習バス事業	県の施設見学を通して県政に対する理解を深め、社会参画意欲を高めてもらうため、学習バスを運行する。	1台30～50人 述べ200台	H28.5～ H28.11
・ (公財)いしかわ女性基金への支援	(公財)いしかわ女性基金が実施する女性のエンパワーメント促進のための事業を支援するため、これに必要な経費を補助する。	—	随時
・ 女性県政会議	女性の意見を県政に反映するための会議を開催する。(婦人団体協議会共催)	各250～400人	H28.8～ H28.11 (4回)
・ 市町男女共同参画行政担当者研修会	事業説明、情報交換等	31人	H28.5
・ 市町DV対策等担当者会議	事業説明、情報交換等	29人	H28.5
・ DV相談員等育成研修	増加するDV相談に対応するため、市町等におけるDV相談員を対象とした研修を実施する。	30人	H28.10～
・ 各種学会等補助金	フェミニストカウンセリングを主題とした学会の開催費を補助する。	—	H28.4～ H28.8

19 都道府県議会の議員の両立支援体制に関する調査

※該当する時点の番号に○をつけてください。

1:平成28年4月1日 その他:平成 年 月 日

議 会 名	石川県議会	
問1. 議員の出産を欠席事由として明記した規定(産休や欠席の事由として出産の文言が明示されたもの)がありますか。1～3のいずれか一つを選択してください。	1.欠席事由として明記した規定がある。 2.欠席事由として明記した規定はないが、運用上出産に伴う欠席を正当な欠席事由と認めている。 3. その他(欠席の例がない、不平等)	1
問2. 問1. で、1を選択した場合にお伺いします。「欠席事由として明記した規定」とは、どのような規定ですか。1～3のうちいずれか一つを選択してください。 ※標準会議規則については下記を参照してください ※標準会議規則と、全く同じでなくても、条文の構造が同じであれば「同様」を選択してください。	1.標準都道府県議会会議規則と同様。 2.標準市議会会議規則又は、標準町村議会会議規則と同様。 3.その他	1
【参考】 標準都道府県議会会議規則 第二条 議員は、公務、疾病、出産その他の事故のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに議長に届け出なければならない。 標準市議会会議規則 第2条 ② 議員は、出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。 標準町村議会会議規則 第二条 2 議員が出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。		
問3. 議会の欠席事由として、議員の仕事と生活の両立の観点からの事由(例:配偶者の出産、育児、介護等)を明記した規定がありますか。1～3のうちいずれか一つを選択してください。 ※○内は例示であり、これ以外の事由でも仕事と生活の両立の観点から明示した規定があれば1. を選択してください。 ※出産に伴う欠席と同じ条文中で明記している場合には、本問の回答にも、「規定がある」と回答してください。	1.明記した規定がある。 2.明記した規定はないが、運用上仕事と生活の両立のための欠席を正当な欠席事由と認めている。 3. その他	3
問4. 問3で1を選択した場合にお伺いします。当該規定(規則、条例等)の該当部分の規定を記入(または添付)してください。 ↓ ※ 条 項 号まで記入してください。		
規 則 名		
該当部分の条文(本文)を記入又は以下に添付してください。		

都道府県名 17 石川県

以下のデータの調査時点をお答えください。(該当する時点に○をつけ、その他の場合は調査年月日も記入してください。)

平成28年4月1日現在 平成28年5月1日現在 その他：平成28年6月1日現在

1 都道府県における首長等の状況 ※在任期間(任期)は予定を記入してください。

知事 ※該当する方に○をつけてください	女性 <input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/>	任期:平成 26 年 3 月 27 日 ~ 平成 30 年 3 月 26 日
副知事	2 人 (女性 人、男性 2 人)	

2 法律又は政令により地方公共団体に置かなければならない審議会等の委員数等

*平成28年4月1日現在で設置義務のある審議会等のうち、28年3月に内閣府が把握したものを掲載しています。
新たに追加・変更・廃止等がありましたら、下記の表に追記のうえ、委員数等を記入してください。

審議会等名 (現在設置していないもの、審議会委員の任命を行っていないものには番号の前の欄に×を記入してください)	委員総数(人)	うち女性委員数(人)	女性委員の割合(%)	備考
1 都道府県防災会議(会長を含む)	70	7	10.0	
都道府県防災会議(委員のみ)	69	7	10.1	
内 1号 当該都道府県の区域の全部又は一部を管轄する指定地方行政機関の長又はその指名する職員	14	0	0.0	
2号 当該都道府県を警備区域とする陸上自衛隊の方面総監又はその指名する部隊若しくは機関の長	1	0	0.0	
3号 当該都道府県の教育委員会の教育長	1	0	0.0	
4号 警視総監又は当該都道府県の道府県警察本部長	1	0	0.0	
5号 当該都道府県の知事がその部内の職員のうちから指名する者	13	2	15.4	
6号 当該都道府県の区域内の市町村の市町村長及び消防機関の長のうちから当該都道府県の知事が任命する者	4	0	0.0	
7号 当該都道府県の地域において業務を行う指定公共機関又は指定地方公共機関の役員又は職員のうちから当該都道府県の知事が任命する者	29	2	6.9	
8号 自主防災組織を構成する者又は学識経験のある者のうち当該都道府県の知事が任命する者	6	3	50.0	
2 国土利用計画地方審議会	15	7	46.7	
3 土地利用審査会	7	1	14.3	
4 都道府県交通安全対策会議	17	3	17.6	
5 自然環境の保全に関する審議会その他の合議制の機関 (旧 自然環境保全審議会) ※6の審議会と統合している場合は6に人数を記入。当欄は空欄とし、備考欄に「6と統合」と記入する。				6と統合
6 環境の保全に関する審議会その他の合議制の機関 (旧 環境審議会)	33	12	36.4	
7 精神医療審査会	16	6	37.5	
× 8 都道府県生活衛生適正化審議会				
9 都道府県医療審議会	21	5	23.8	
10 准看護師試験委員	9	5	55.6	
× 11 麻薬中毒審査会				
12 地方社会福祉審議会	35	14	40.0	
13 障害者に関する審議会その他の合議制の機関	20	5	25.0	
14 国民健康保険審査会	9	4	44.4	
15 都道府県農業共済保険審査会	8	3	37.5	
16 都道府県森林審議会	14	6	42.9	
17 都道府県建設工事紛争審査会	9	4	44.4	
18 建築審査会	7	3	42.9	
19 都道府県建築士審査会	6	3	50.0	
20 都道府県都市計画審議会	20	4	20.0	
21 開発審査会	7	3	42.9	
22 私立学校審議会	14	5	35.7	
23 石油コンビナート等防災本部	35	2	5.7	
× 24 公害健康被害認定審査会				
× 25 窒素酸化物総量削減計画又は粒子状物質総量削減計画に定められるべき事項について調査審議する協議会 (旧 総量削減計画策定協議会)				
26 都道府県児童福祉審議会	23	13	56.5	
27 地方港湾審議会	16	5	31.3	
× 28 土地区画整理審議会				
29 教科用図書選定審議会	20	9	45.0	
30 介護保険審査会	15	7	46.7	
31 道府県固定資産評価審議会	11	4	36.4	
32 感染症の診査に関する協議会	12	2	16.7	
33 警察署協議会	141	56	39.7	
34 土地収用事業認定審議会	5	2	40.0	
× 35 住民基本台帳法 本人確認情報の保護に関する審議会				
36 国民保護協議会	51	2	3.9	
37 地方独立行政法人評価委員会	5	1	20.0	
× 38 市街地再開発審査会				
× 39 都道府県職員委員会				
× 40 自然再生協議会				
41 審議会その他の合議制の機関(※公益認定等)	5	1	20.0	
42 後期高齢者医療審査会	9	3	33.3	
43 留置施設視察委員会	4	1	25.0	
× 44 傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に関する基準の協議並びに実施基準に基づく傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に係る連絡調整を行うための協議会				
45 指定難病審査会	17	1	5.9	
46 小児慢性特定疾病審査会				45と統合
47 行政不服審査会	3	1	33.3	
合計	709	210	29.6	
女性委員0の審議会数	0			

3 地方自治法(第180条の5)に基づく委員会等の委員数

	委員会等名	委員総数 (人)	うち女性委員数 (人)	女性委員の割合 (%)	備考
1	教育委員会	5	2	40.0	
2	選挙管理委員会	4	0	0.0	
3	人事委員会	3	0	0.0	
4	監査委員	4	1	25.0	
5	公安委員会	3	0	0.0	
6	都道府県労働委員会	15	1	6.7	
7	収用委員会	7	0	0.0	
8	海区漁業調整委員会	15	2	13.3	
9	内水面漁場管理委員会	10	3	30.0	
	合 計	66	9	13.6	
	女性委員0の委員会数	4			